

FEI インターメディアイト I 2009

時間 5'30''(参考時間)

競技会名

日付

審判員名

審判員位置

出番順

競技者名

所属

馬名

馬匹の最低年齢:7才

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	A 収縮駢歩で入場 X 停止-不動-敬礼 収縮速歩で発進 XC 収縮速歩	10					ペースおよび停止と移行の質 真直性 コンタクトと項の位置	
2.	C 左手前蹄跡に入る HXF 伸長速歩 FA 収縮速歩	10					整正、伸縮性、バランス 後躯の活力、オーバートラック フレームの伸展、両移行	
3.	A 中央線上に入る DX 右肩を内へ	10					速歩の整正と質; 屈曲と一定の角度 収縮、バランスと流暢さ	
4.	X 右へ巻乗り(直径8m)	10					速歩の整正と質、収縮、バランス 屈曲; 巻乗りの大きさと形	
5.	XM 右へハーフパス MC 収縮速歩	10			2		整正と速歩の質、安定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ 肢の交叉	
6.	C 停止-不動 5歩後退、ただちに収縮速歩にて発進	10					停止と移行の質、透過性、流暢さ 真直性 後退(斜対)の歩数の正確さ	
7.	HX 左へハーフパス	10			2		整正と速歩の質、安定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ 肢の交叉	
8.	X 左へ巻乗り(直径8m)	10					速歩の整正と質、収縮、バランス 屈曲; 巻乗りの大きさと形	
9.	XD 左肩を内へ D 中央線上(直行進) A 右手前蹄跡に入る	10					速歩の整正と質; 屈曲と一定の角度 収縮、バランスと流暢さ	
10.	KR 中間速歩	10					整正、伸縮性、バランス、 後躯のエンゲイジメント 歩巾とフレームの伸展 両移行、伸長速歩との差異	
11.	RMGH 収縮常歩	10			2		整正、背の柔軟、活発さ 歩巾の短縮と運歩の高揚 セルフキャリッジ 常歩への移行	
12.	HB(P) 伸長常歩	10			2		整正、背の柔軟、活発さ オーバートラック、肩の自由さ ハミへの伸展	
13.	P手前で 収縮常歩 P 右収縮駢歩発進 PFA 収縮駢歩	10					移行の明確な実施と流暢さ 駢歩の質	

FEI インターメディアイト I 2009

出番順 競技者名 所属 馬名

順序	運動課目	最 高 点	採 点	修 正	係 数	合 計	着 眼 点	観 察 所 見
14.	A 中央線上に入る DG間 中央線の両側5mに3回のハーフパス、 (各頂点で踏歩変換) 最初と最後は右へ G 踏歩変換 C 左手前蹄跡に入る	10				2	駢歩の質 安定した屈曲、収縮、バランス、 手前変換の流暢さ 左右対称な実施 踏歩変換の質	
15.	HXF 伸長駢歩	10					駢歩の質、インパルジョン 歩巾とフレームの伸展 バランス、アップヒル傾向、真直性	
16.	F 収縮駢歩、踏歩変換 FAK 収縮駢歩	10					斜線上での踏歩変換の質 明確でスムーズな移行の実施	
17.	KXM 斜線上3歩毎の踏歩変換5回 MCH 収縮駢歩	10					正確さ、バランス、流暢さ、 アップヒル傾向、真直性 前後の駢歩の質	
18.	H(B) 斜め手前斜線上に入る I 左へピルーエット	10				2	収縮、セルフキャリッジ、バランス 大きさ、諸関節の柔軟性と屈曲 正確な歩数(6-8歩) 前後の駢歩の質	
19.	B 踏歩変換	10					正確さ、バランス、流暢さ、 アップヒル傾向、踏歩変換の真直性	
20.	B(K) 斜め手前斜線上に入る L 右へピルーエット	10				2	収縮、セルフキャリッジ、バランス 大きさ、諸関節の柔軟性と屈曲 正確な歩数(6-8歩) 前後の駢歩の質	
21.	K 踏歩変換 KAF 収縮駢歩	10					正確さ、バランス、流暢さ、 アップヒル傾向、踏歩変換の真直性 駢歩の質	
22.	FXH 斜線上2歩毎の踏歩変換7回 HC 収縮駢歩	10					正確さ、バランス、流暢さ、 アップヒル傾向、真直性 前後の駢歩の質	
23.	CM 収縮速歩 MXK 伸長速歩 KA 収縮速歩	10					整正、伸縮性、バランス 後躯の活力、オーバートラック フレームの伸展	
24.	Cおよび、MとKでの移行	10					リズムの維持、流暢さ 明確でスムーズな移行の実施 フレームの変化	
25.	A 中央線上に入る X 停止ー不動ー敬礼	10					ペースの質、停止と移行 真直性、コンタクトと項の位置	
	手綱を伸ばした常歩でAより退場							
計		320						

